

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録や通常の診療で行った検査の後に保管されている残った試料（手術切除・生検検体）を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテや保管されている試料（手術切除・生検検体）を利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 原発性肝癌および転移性肝癌における Chloride intracellular channel protein の発現と局在についての研究

【研究機関】 愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆膵乳腺外科学

【研究責任者】 西 悠介（愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆膵乳腺外科学 大学院生）

### 【研究の目的】

過去に当院を受診された原発性肝癌および転移性肝癌の患者さんの診療録（カルテ）の情報と組織を収集し、原発性肝癌および転移性肝癌における Chloride intracellular channel protein(細胞内塩素イオンチャンネル蛋白質)の発現と局在についての研究を行うことといたしました。この研究は原発性肝癌および転移性肝癌における病態解明を目的としたものであり、その結果は今後の診療にも役立てられると考えています。

### 【研究の方法】

（対象となる患者さん） 2015年1月から2019年12月に愛媛大学医学部附属病院を受診された方のうち原発性肝癌および転移性肝癌と診断され「肝胆膵・乳腺外科、大腸外科領域の悪性腫瘍における CD200 の発現とその周辺環境」についての臨床研究に参加された患者さん

（利用するカルテ情報） 性別、年齢、発症時期、合併症、既往歴、身体所見、血液検査データ、画像検査データ、治療状況 等

（利用する試料） 通常の診療で使用した後に残った試料（手術切除・生検検体）

**【個人情報の取り扱い】**

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

**<試料・情報の管理責任者>**

愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆膵乳腺外科学 西 悠介

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、**【お問い合わせ先】**までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学大学院医学系研究科 肝胆膵乳腺外科学 西 悠介

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5327